

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	交通バリアフリー化整備促進事業				事業番号	017-015	
担当部署名	建築都市局	局	交通部	部	交通政策課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(3)市民の参加と協働による地域福祉の充実	
			有	取組の方向性	④面的・一体的なバリアフリー化の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.7
			有	取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	堺市地域公共交通計画、堺市バリアフリー基本構想		
3	事業開始年度	平成 5 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	堺市鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業補助金交付要綱 堺市地下高速鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市民（鉄道利用者（令和6年度堺市内鉄道駅一日平均利用者数））				対象数	単位
						637,438	人
7	事業の目的	障害者、高齢者など鉄道利用者の施設利用上の利便性及び安全性の向上を図るため、鉄道事業者によるバリアフリー化を促進する。					
8	事業内容	鉄道事業者が実施するホームからの転落や列車との接触事故防止を目的とした可動式ホーム柵等、駅バリアフリー化設備整備事業等に対して、事業費を一部補助することにより、バリアフリー化を促進する。 南海高野線中百舌鳥駅可動式ホーム柵整備 ・令和7年度工事着手 ・令和9年度工事完了予定 泉北線 泉ヶ丘駅、光明池駅、深井駅、梅・美木多駅可動式ホーム柵整備 ・令和8年度整備に向けた工事着手 ・令和12年度までに工事完了予定					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	南海電気鉄道株式会社					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	バリアフリー化設備整備駅舎数	駅	目標値	1	0	1	1
			実績値	1	0		
			達成率	100%	—		
当該指標を選定した理由		バリアフリー化設備の整備を目的としているため、整備完了した駅舎数を成果指標とする					
目標値の設定根拠・算出方法		整備完了予定駅舎数（R7年度はホーム柵の製作のみで設置はないため0とする）					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	バリアフリー化設備整備補助実施件数	件	目標値	1	1	5	
			実績値	1	1		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		補助の実施によりバリアフリー化設備整備の促進が図られるため					
目標値の設定根拠・算出方法		補助完了予定件数（部分完了した場合もカウントする）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	交通バリアフリー化整備促進事業	事業番号	017-015
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	61,529	59,249	78,000	50,371	234,167
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	46,000	44,400	58,500	37,700	175,400
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	4,698	4,698	4,200	4,200	4,350
	一般財源	15,529	14,849	19,500	12,671	58,767
15	年間経費（c）=(a)+(b)	66,227	63,947	82,200	54,571	238,517

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	可動式ホーム柵等整備補助 (南海高野線中百舌鳥駅)		50,371	12,671		R7	決算		
				93,500	23,400		R8	予算		
		可動式ホーム柵等整備補助 (泉北線泉ヶ丘駅)		0	0		R7	決算		
				93,000	23,300		R8	予算		
		可動式ホーム柵等整備補助 (泉北線光明池駅)		0	0		R7	決算		
				40,167	10,067		R8	予算		
		可動式ホーム柵等整備補助 (泉北線深井駅)		0	0		R7	決算		
				5,000	1,300		R8	予算		
		可動式ホーム柵等整備補助 (泉北線榑・美木多駅)		0	0		R7	決算		
				2,500	700		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 補助実施駅一日平均利用者数	人	40,149	40,149
	② 上記①にかかる年間経費	千円	63,947	54,571
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,593	1,359
算出についての説明等		一日平均利用者数については、令和5年度データ		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	今回の整備により、当初の計画どおり、堺市バリアフリー基本構想（中百舌鳥地区）に掲げる整備項目である「可動式ホーム柵の設置」に関する取組が進められた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	可動式ホーム柵については、地下鉄御堂筋線の市内全駅及び南海高野線中百舌鳥駅の4番線・3番線において整備が完了した。鉄道事業者に対して補助を行うことで、バリアフリー基本計画に掲げるバリアフリー化を促進し、障害者や高齢者をはじめとする鉄道利用者の利便性及び安全性の向上に寄与した。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	安全性及び利便性の向上に資する設備に対して補助を行うことで、鉄道施設のバリアフリー化が促進されている。特に可動式ホーム柵は、設置に多額の費用を要し、鉄道事業者単独では整備が進みにくい側面があることから、補助を行う必要性は高い。さらに、本補助によりホームからの転落防止等の安全対策が強化されるほか、障害者や高齢者をはじめとする鉄道利用者の利便性及び安全性の向上に寄与していることから、その有効性も高い。
	有効性	■ 高い □ 低い	